

日本国際連合学会 2011 年度研究大会プログラム

日 時:2011 年 6 月 18 日(土)~19 日(日)

会 場:法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26 階 スカイホール
〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 (アクセス・マップ同封)
(<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/campus/ichigaya/ichigaya.html>)
(<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/campus/ichigaya/index.html>)

共通テーマ:世界秩序構想としての国連と課題

第1日

オープニング・セッション(10:00~11:20)

司会:石原直紀(日本国際連合学会事務局長、立命館大学)

10:00~10:10 開会挨拶 横田洋三(日本国際連合学会理事長)

10:10~10:20 開会の辞 増田壽男(法政大学総長)

10:20~11:20 基調講演 高須幸雄(国連事務総長特別顧問/前国連常駐代表)
「歴史の中の国連、国連がつくる歴史」(仮)

第1セッション(11:20~13:00)「国連創設と大国外交(仮)」

司会兼討論者:山田哲也(南山大学)

報告者1:細谷雄一(慶應義塾大学)

報告者2:篠原初枝(早稲田大学)

昼食(13:00~14:30) 昼食/理事会

特別セッション (14:30~15:30)

『国連を生かす外交を—日本の国連政策への提言—』について

紹介者:横田洋三(日本国際連合学会理事長)

コメント:起草に参加した学会有志

第2セッション(15:45~17:30)「国家中心の国連・人間中心の国連(仮)」

司会兼討論者:長谷川佑弘(法政大学)

報告者1:「安全保障:国家間安全保障と人間の安全保障の相剋」

清水奈名子(宇都宮大学)

報告者2:「開発:MDGs 実現に向けての援助と被援助国のガバナンス問題」(調整中)

総会(17:30～18:00)

懇親会(18:00～20:00)

第2日

緊急セッション(10:00～12:30) パネルディスカッション

「複合災害からの人道救援・復興と国連の役割(仮)」

司会:星野俊也(大阪大学)

基調講演:大島賢三(国際協力機構副理事長／元人道問題担当国連事務次長、国連常駐代表)

パネリスト1:平林国彦 ユニセフ東京事務所代表

パネリスト2:国際労働機関(ILO)駐日事務所(調整中)

パネリスト3:赤十字国際委員会(ICRC)駐日事務所(調整中)

昼食(12:15～13:45) 昼食／企画委員会・編集委員会

第3セッション(14:00～15:00) 若手独立報告

司会兼討論者:井上実佳(広島修道大学)

報告者1:政所大輔(神戸大学大学院法学研究科博士後期課程)

報告者2:渡邊美湖(東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程)

第4セッション(15:15～17:00) パネルディスカッション

「国連について何を研究・教育するのか」

司会兼発題者:大芝 亮(一橋大学)

パネリスト1:山本慎一(香川大学)／国際法・安全保障の観点から

パネリスト2:大平 剛(北九州市立大学)／国際政治・経済の観点から

パネリスト3:滝澤美佐子(桜美林大学)／国際法・人権の観点から

パネリスト4:太田 宏(早稲田大学)／国際政治・環境の観点から

パネリスト5:敦賀和外(大阪大学)／実務の観点から

(2011年5月15日現在)